

ゲジ

特徴と生態

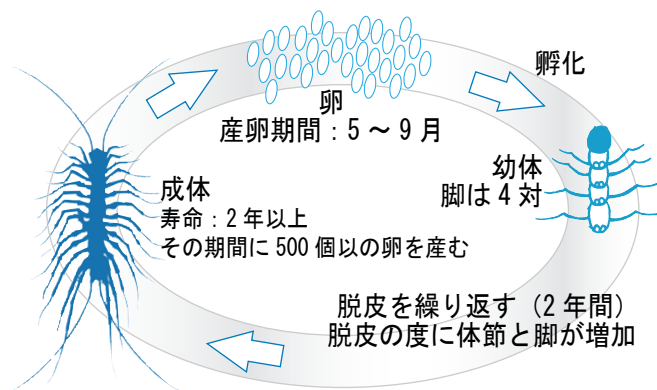


- 体長…20 ～ 25 mm
- 体色…灰黄色で、背面に灰緑いろの3縦条がある
- ゲジゲジと呼ぶ人が多く、長い脚と触覚を持ちます。
肉食性で、小型の昆虫やクモなどを捕えて食べるため動きは俊敏です。また、夜行性で、昼間は石の下や草むらなど暗く湿った物かげに潜っていますが、夜間はかなり広範囲に活動します。寿命は5～6年です。脚は、鳥などの外敵に襲われると、トカゲの尾と同じく自切することができますが、脱皮により再生します。

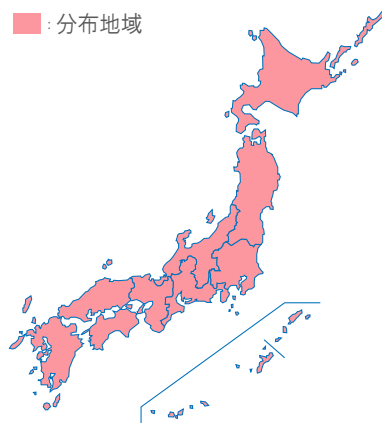
分布と発生場所

- 日本に広く分布しており、草むら、石や落ち葉の下、洞窟、床下などに生息します。また、コンクリートの割れ目内に生息することもあるため、工場など建屋内で生息することもあります。

● サイクル図



分布図



● 発生時期



被害

- ムカデに似ていることから恐れられていますが、ムカデのように咬むなどの被害はありません。春から秋にかけて、餌を求めたり、越冬のために家屋内へ侵入することがあります。

駆除

- 屋内に侵入してきたものは、ゴキブリ駆除用スプレーを直接噴きかけることで退治することができます。ゲジ類は徘徊しながら屋内へ侵入をしてきますので、入ってきては困る場所を取り囲むように殺虫剤を散布します。殺虫剤は、有機リン剤やカーバメート剤の粉剤や粒剤を帯状に散布します。この際、雨が当たらない場所に処理すると効果が持続します。また、床下や家周辺に生えている草むら、廃材やがれきの下などが住みかとなっている場合がありますので、これらを除去することで、ゲジがすみにくい環境をつくることも必要です。その他、古い家屋に多いのですが、天井裏や床下が生息場所になっている場合があります。この場合は、煙霧処理やくん煙剤、加熱蒸散剤などの処理を行うことが効果的です。